

石丸伸二 さんと 東京新時代の会が 共に見据える 東京の未来

特集号

東京を動かそう



東京を動かし、 日本を動かそう

国難を乗り越えるために
東京にしかできない役割

今後、日本は人口急減という危機に直面します。2040年にかけて、人口は一千万人以上も減る見込みです。このままでは日本の経済や社会が維持できなくなります。急いで危機に備えなければなりません。

日本全体で人口が減少する中であって、都市と地方には過密と過疎が存在します。あらゆる点でリバランス(再調整)が必要です。今、成長のために変化が求められています。

東京はもっと伸びるはずで、東京が変われば、日本が変わります。これからも世界に誇れる国であり続けるために。私達が東京を動かしましょう。

前 安芸高田市市長

石丸伸二 ってどんな人?

1982年生まれ。2006年、京都大学経済学部卒。三菱UFJ銀行入行。14年アナリストとして米ニューヨーク赴任。2020年に広島県安芸高田市市長選挙へ立候補、大差で当選。同年8月より市長を務めた。インフルエンサー市長として活躍し、自治体YouTubeチャンネルは、東京都を超え登録者数日本一に。村度や根回しのない、あるべき姿に対しストレートな政治手法が、多くの国民から支持され、話題になっている。X(旧Twitter)のフォロワー数は約40万人。

石丸伸二
SNS



東京を動かそう

政治再建

都政の見える化・分かる化

SNS・YouTube等の活用、情報公開の徹底

ICTを活用した民意の集約

情報収集に基づく行政サービスの最適化

政策の合理化・適正化

利権政治からの脱却、バラマキ事業の廃止

都市開発

災害リスクへの対応

役割分担(自助・共助・公助)の明確化、復旧・復興への財政的準備

二つのエコ(経済と環境)の両立

人と自然の調和、物質的・精神的な豊かさの追求

多摩格差の是正

特色の強化、ハード・ソフトの充実

産業創出

教育の深化・進化

学校環境の改善、学校教育の充実

外需の取り込み

インバウンドへの需給両面での対応、コンテンツ産業の育成

46道府県との協調・協働

回遊型社会の構築、相互作用的な文化交流